

NGKグループ  
CSR調達ガイドライン

2018年6月（第5版）

日本ガイシ株式会社

資材部  
コーポレートコミュニケーション部

## NGKグループ「CSR調達ガイドライン」

日本ガイシグループは、公正・自由・透明な取引を実践し、材料、部品、装置などを調達するお取引様の皆様とともに、CSR活動を推進してまいります。

そのため、以下に定める「CSR調達ガイドライン」へのご理解と賛同をお願いいたします。

### [CSR調達ガイドライン]

#### ■ 門戸開放(Open & Fair)

##### 1. オープンで公正かつ公平な調達

###### 1-1 「腐敗防止」

不当な利益、優遇措置の取得、維持を目的に、あらゆる利害関係者への違法な贈与、支払い、対価、金銭的または金銭以外の利益供与などの贈賄は行わない。

###### 1-2 「知的財産権の尊重、保護」

自社保有、あるいは自社に帰属する知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産の不正入手、使用、権利侵害を行わない。

###### 1-3 「競争法の順守」

各国、地域の競争法を順守し、私的独占、不当な取引制限、優越的地位の濫用などの不公正な取引を行わない。

###### 1-4 「輸出管理関連法規の順守」

各国、地域の法令等で規制される技術、物品などの輸出に関して、適切な輸出手続き、管理を行う。

###### 1-5 「責任ある資源、原材料調達」

人権侵害、貧困などの社会問題を引き起こす原因となり得る原材料(例、紛争鉱物:コンゴ民主共和国、および隣接諸国から産出されるスズ、タンタル、タングステン、金の4種鉱物で、かつ同地域の武装勢力の資金源となっている鉱物)の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うものとし、懸念のある場合には使用回避に向けた施策を行う。

##### 2. 競争原理と経済性の追求

###### 2-1 「競争原理と経済性の追求」

資材調達では市場の競争原理に基づいて、最適な品質のものを、適切な価格で、最短納期、かつ長期に安定して提供できるように継続して努める。

## ■ 共存共栄 (Partnership)

### 3. サプライヤーとの相互信頼に基づく相互繁栄

#### 3-1 「ステークホルダーへの情報開示」

経営、財務、環境保全、社会貢献などの有用な情報をステークホルダーに対して、適時、適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼の維持、発展に努める。

#### 3-2 「情報セキュリティー」

コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、自社および他社に被害を与えないよう管理する。

また、顧客、第三者、従業員の個人情報、および顧客、第三者の機密情報は、正当な方法で入手するとともに、適切な範囲で利用し、厳重に管理、保護する。

#### 3-3 「地域への貢献」

良き企業市民として、事業所の所在する地域社会および国際社会に貢献できる活動を積極的に継続する。

## ■ 社会的協調 (Relationship with Society)

### 4. 法の順守

#### 4-1 「法令の順守」

各国、地域の法令を順守する。コンプライアンスの徹底のための全社的な方針や体制、行動指針、教育などの仕組みを構築、運用する。

#### 4-2 「人権尊重／差別の撤廃」

基本的人権を尊重し、人種、国籍、信条、性別、障害などによる差別行為は行わず、機会の均等な付与と公正な処遇を行う。

#### 4-3 「強制労働の禁止」

全ての労働は自発的であること、および従業員が自由に離職できることを保証するとともに、強制労働を行わない。

#### 4-4 「児童労働の禁止」

各国、地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は行わない。

#### 4-5 「賃金」

最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付などに関する各国、地域の法令を順守する。

#### 4-6 「労働時間」

従業員の労働時間の決定、および休日、年次有給休暇の付与などについて、各国、地域の法令を順守する。

#### 4-7 「安全衛生」

従業員の職務上の安全、健康を満たす職場環境を確保するとともに、事故、災害の未然防止に努める。

#### 4-8 「従業員との対話・協議」

従業員は報復、脅迫や嫌がらせを恐れずに、経営層と対話・協議などのコミュニケーションをとることができる。

#### 4-9 「反社会的勢力の排除」

社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体との関係を排除する。

### 5. 地球環境の保護

#### 5-1 「法令の順守」

各国、地域の環境関係法令などを順守する。

#### 5-2 「環境マネジメント」

全社的な環境管理システムを構築し、継続的な運用、改善に努める。

#### 5-3 「温室効果ガスの排出削減」

事業活動における温室効果ガスの排出管理を行い、削減活動を推進する。

#### 5-4 「省資源、廃棄物削減」

廃棄物の適正処理を行うとともに、発生量抑制、リサイクルを推進し資源の有効活用に努める。

#### 5-5 「化学物質管理」

事業活動で使用する化学物質を適正に管理、削減して、大気、水、土壌などの汚染防止に努める。  
また、製品に含有する化学物質の確実な管理に取り組む。

#### 5-6 「生物多様性保全への取組み」

生物多様性保全に向けた取組みに努める。

#### 5-7 「水資源への取組み」

各生産拠点における水資源に関するリスク管理と水利用効率化への取組みに努める。

## ■ NGKグループ「CSR調達ガイドライン」への同意に関するお願いについて

NGKグループ「CSR調達ガイドライン」をお読みいただいた上で、下記の質問にご回答をお願いします。

質問ー1 NGKグループ「CSR調達ガイドライン」の趣旨を理解した。

- 1. はい
- 2. 一部は理解した
- 3. いいえ

「はい」以外 の場合、趣旨を理解できなかった項目、および理由の記載をお願いします。

.....  
.....

質問ー2 NGKグループ「CSR調達ガイドライン」を順守することに同意する。

- 1. はい
- 2. 一部は同意する
- 3. いいえ

「はい」以外 の場合、同意できない項目、および理由の記載をお願いします。

.....  
.....

## ■ 貴社ご回答責任者

会社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

役 職 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

E-Mailアドレス \_\_\_\_\_

確認のため再度ご記入下さい

E-Mailアドレス \_\_\_\_\_

上記「同意に関するお願い」のご回答は、日本ガイシおよびグループ企業※と共同利用させていただきます。ご回答の利用目的は、本ガイドラインの周知と同意可否状況の確認、および同意をいただけなかった箇所の把握です。

上記ご回答にてご提供いただきました個人情報(氏名、連絡先など)は、利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、お願いする内容に関してご賛同をいただけない場合は、その旨を文書にてご連絡をいただきますようお願いいたします。

ご多忙の折、誠に恐縮ではありますが、ご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

共同利用に関する管理責任者: 日本ガイシ株式会社 資材部

※ 具体的なグループ企業名は下記の日本ガイシホームページに掲載しています。

<https://www.ngk.co.jp/info/network/index.html>